

「みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園」レポート第14弾 イドバタパークデイ特集！ ～宮前区、多摩区、麻生区でイドバタパークデイを開催しました～



川崎市では、令和5年2月から、多くの市民の皆様と一緒に「みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園」づくりに取り組んでいます。

令和7年9月に宮崎第4公園（宮前区）、11月には菅北浦緑地（多摩区）と餅坂第5公園（麻生区）において、公園をもっと身近に感じ、気軽に関わるきっかけづくりとして「イドバタパークデイ」※1を実施しました。

その取組内容の報告として「みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園」レポート第14弾（イドバタパークデイ特集）にとりまとめました。このレポートは市ホームページでも公開しています。

今後も引き続き、多くの市民などの参加のもと、公園の担い手づくりに向けた新たなアプローチ体制や支援等を検証し、公園等における協働の取組の持続性確保に向けた取組を進めてまいります。これまでの取組については、市ホームページでも確認できます。

※1 「イドバタパークデイ」：公園で「市民等のしたい」を体験する場



※今回のレポートをHPでも確認いただけます
[https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/26-8-22-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html](https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/26-8-22-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html)

【取組の概要】（詳細は別紙参照）

■宮崎第4公園「落葉拾い達人は誰だ！？」：令和7年9月28日（日）開催

市内統一美化活動に合わせて、公園愛護会や少年野球チームなど多くの主体を巻き込み、ゲーム形式の落葉拾いや里山での草取りなどを行いました。公園を利用する地域の方々が一緒に活動することで顔の見えるつながりが生まれ、地域の方々の繋がりを広げるきっかけとなりました。

■菅北浦緑地「いきもの探検隊&ばったランドづくり」：令和7年11月1日（土）開催

公園に生息する生き物の観察後、昆虫の生息環境に配慮した草取りなど、親子で自然に触れ、自然との共生を実感できるイベントを行いました。公園の魅力や特性を知ることにより公園に親しみを感じてもらい、今後も公園への愛着醸成に向けた取組を進めていきます。

■餅坂第5公園「幸せを呼ぶクローバー大作戦」：令和7年11月8日（土）開催

公園緑地愛護会メンバーが描く公園の将来像を地域の方々と共有し、クローバーの種まきやペンキ塗りなど、活動体験を行いました。親子で楽しく体験することで公園を知ってもらい、公園を見守る気持ちへとつながり、幅広い世代の方々が関わる公園づくりが進みだしました。

【問合せ先】

川崎市建設緑政局グリーンコミュニティ推進室 大久保
TEL：044-200-1920

“公園でやってみたい”を気軽に体験できる1日

イドバタパークデイ特集

みんなが気持ちよく
いきいき
過ごせる
公園

川崎市では、市民が公園でやってみたいことを話し合い、「みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園」の実現に向けて、企画づくりやイベント、意見交換などを行っています。今回のレポートでは、各地で実施した『イドバタパークデイ』の活動の様子をまとめてお届けします。

イドバタパークデイとは?

イドバタパークデイは、「公園でやってみたい！」の最初の第1歩を応援する体験プログラムとして、清掃や自然観察などの簡単な公園活動を通して、公園をもっと身近に感じ、気軽に関わるきっかけづくりとしてスタートしました。それぞれの地域ごとの課題の解決に向け、既存愛護団体等と市民の方が一緒に活動できる場として、広がりを見せ始めています。

〈 宮崎第4公園 | 9/28 開催 〉



落ち葉拾い達人は誰だ!?



プログラム1 落ち葉拾い選手権

花の台公園愛護会の定期清掃に合わせ、チーム対抗で集めた落ち葉の量を競う選手権を行いました。参加者が力を合わせて集めた落ち葉は、合計93袋にのぼりました。



公園利用者に向けたきっかけづくり

宮崎第4公園で活動する団体にとって、地域への負担増加や活動をもっと知ってもらいたいなどの課題がありますが、休日には少年野球など多くの人に利用される公園であることから、市内統一美化活動に合わせて清掃や草取りなど愛護活動の体験を行いました。

2つのプログラムを通して、町内会や活動団体、少年野球チームなど公園を利用する様々な方が一緒に活動することで『顔の見えるつながり』が生まれ、それぞれの活動を知る機会となり、地域の方々の繋がりを広げるきっかけとなりました。

プログラム2 緑の里山の会と草取り体験

公園で活動する「緑の里山の会」の皆さんと一緒に草取りを実施しました。草の間から出てくる生き物にふれあったり、黙々と草を抜いたりと、参加者がそれぞれのペースで活動を体験しました。



〈 菅北浦緑地 | 11/1 開催 〉



プログラム1 いきもの探検隊

公園内を歩きながら、昆虫や植物を親子で観察しました。子どもたちは「これは何?」「どうして?」など、たくさんの疑問を投げかけながら、身近な自然への関心を高める時間となりました。



地域住民に向けたきっかけづくり

菅北浦緑地は、広大で自然あふれる公園である一方、草が繁茂して利用しづらいという声もあることから、市民の「やってみたい」の声が多い「いきもの観察」など公園での活動体験を地域の方々と行いました。

こうした学びの機会を通して、この公園の魅力や特性を知ることにより公園に親しみを感じてもらい、公園に関わるきっかけにつながったことから、今後も公園への愛着醸成に向けた取組を進めてまいります。

プログラム2 ばったランドづくり

観察のあとは、昆虫がすみやすい草むらを残しながら、公園をきれいにする草取りを実施しました。自然と共生しながら公園を整える方法を、親子で体験する機会となりました。



〈 餅坂第5公園 | 11/8 開催 〉



プログラム1 公園の将来像のお披露目

愛護会のみなさんが描いた公園の将来像を共有し、地域の方々と一緒に「これからこの公園をどう育てていきたいか」を共有しました。



次世代に向けたきっかけづくり

餅坂第5公園は、利用者が少ない等の課題があることから、愛護会として子どもたちにたくさん来てもらえるような公園の将来像を描き、実現に向けた公園愛護活動体験を行いました。

親子で楽しく体験することで公園を知ってもらい、公園を見守る気持ちへつながり、幅広い世代の方々が関わる公園づくりが進みだしました。

プログラム2 クローバーの種まき・ペンキ塗り

餅坂第5公園愛護会の協力のもと、子どもから大人までが一緒にクローバーの種まきやペンキ塗りを体験しました。作業を通して、参加者同士が自然に声を掛け合い、世代をこえた交流が生まれました。

この活動を通じて、「手入れは難しいものではなく、やってみると楽しい」という気づきが広がり、愛護会の活動理解につながりました。

また、種をまいた場所の見守りなど、地域の小さな協力の芽も育ち始めています。

